

群馬県中小企業団体中央会

8回通常総会開催

第58回通常総会が5月30日(金)、午後1時30分より、前橋商工会議所会館「ローズ」において開催された。総会では、平成26年度事業計画・予算をはじめとする全議案が原案通り可決承認・決定された。



高橋晴樹
全国中央会専務理事



富田 淳
日銀前橋支店長



須藤文規
県産業経済部副部長



金子正元会長

通常総会は、委任状出席を含めて336会員の出席を得て開会した。開会挨拶で金子正元会長は「新年度においても、組合間連携による新商品の試作品開発、ものづくりに基盤の強化、若手技術者・技能者の人材育成等を中心に、中小企業連携組織等支援事業を再編、強化していく。国の経済対策関連事業についても、商業やサービス業も含めた『新ものづくり補助金事業』『地域中小企業の人材確保・定着支援事業』等について積極的に推進していく。中央会の真価が問われていると認識し、役員が一丸となつて、中小企業の難局打開に向け、事業のさらなる充実に努めていく」と挨拶。

この後、金子会長が議長に選任され、事業報告・決算、計画・予算、経費の賦課徴収方法、役員報酬、借入金残高最高限度額の5議案が、いずれも満場一致で原案通り可決承認・決定された。

次いで、来賓の方々より祝辞が述べられた。初めに、大澤正明群馬県知事代理の県産業経済部副部長須藤文規氏が、「景気の回復の動きを県内隅々まで行き渡らせる施策を積極的に展開していく。『富岡製糸場と絹産業遺産群』が経済活

平成26年
春の叙勲・褒章・県総合表彰

組合等の関係者は次の方々です。
(敬称略・順不同)
栄えある受章・受賞を心よりお祝い申し上げます、今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

叙勲

- 内田欣治(群馬弁護士(協))
- 石川重政(太田建設業(協))
- 荻原榮一(群馬県鐵構業(協))
- 光山 紘(群馬県鍍金(工))
- 田中照雄(伊勢崎市環境事業(協))

褒章

- 石関誠二(高崎機械工業(協))
- 木暮 実(群馬県塗装看板(協))
- 千明俊彦(協) 洪川電気センター
- 矢口正郎(高崎測量設計業(協))

群馬県総合表彰

- 谷信良(群馬県税理士(協))

第58回通常総会

群馬県中小企業団体中央会

平成26年度中央会重点活動目標

- 1 組合組織の強化と活動支援
- 2 中小企業経営力強化の支援
- 3 農商工連携・地域資源活用・ものづくり等に関する支援
- 4 中小商業・サービス業等の活性化支援
- 5 中小企業の海外戦略の支援
- 6 中小企業及び組合の人材確保・育成・定着の支援
- 7 環境保全活動の推進

性化の起爆剤となるよう取り組んでいく。東毛広域幹線道路の開通、北陸新幹線の延伸を追い風として、コンベンション施設の整備も視野に入れ、群馬県が大きく羽ばたけるよう努力していく」と述べた。

日本銀行前橋支店長富田淳氏は、「デフレからの脱却を図るため、量的・質的金融緩和を導入してから1年あまりが過ぎた。また、企業の成長を支援するため金融機関向けの資金供給制度を設けており、その利用促進に努めている。県内中小企業が元気になってはじめて県内経済が真に回復するとの認識のもと、金融機関と連携を取りつつ、金融面からの支援を継続していく」と挨拶を述べた。

全国中小企業団体中央会会長代理の専務理事高橋晴樹氏からは、法人税の実効税率を引き下げられる一方で、外形標準課税の中小企業への適用を拡大しようとする動きについての説明と、中央会の対応を報告した。

そして、来賓紹介、祝電披露の後、町田錦一郎副会長が、「景気回復をより確かなものにするためにも、役員員一同一丸となり諸事業に取り組んでいく」と閉会の辞を述べ総会を終了した。

原澤春代(群馬県税理士(協))

高田嘉郎(群馬県税理士(協))

大藤忠昭(群馬県柔道整復師(協))

福田朋英(群馬県旅館ホテル生活衛生同)

上岡克己(群馬県再生資源事業(協)連合会)

武井茂男(一社)群馬県造園緑化協会

藤森直廣(群馬県素材生産流通(協))

山田輝俊(協)前橋問屋センター

籠島正直(群馬県漬物工業(協))

野口十九一(西毛機械工業(協))

原 丈一(玉村町指定水道工事店(協))

砂永 弘(太田機械金属工業(協))

町田一明(高崎機械工業(協))

横田貞一(高崎卸商社街(協))

市澤孝一(ファッションぐんま(協))

佐藤好雄(桐生織物(協))

岩崎朝嗣(桐生刺繍商工業(協))

須藤 温(水上温泉旅館(協))

小野博子(水上温泉旅館(協))

森田 繁(伊香保温泉旅館(協))

三原豊章(群馬県建設事業(協))

萩原信行(一社)群馬県造園建設業協会

諸星和夫(群馬県建設事業(協))

内藤達雄(群馬県パン(協))

雨笠忠一(太田南一番街商店街(振))

群馬県中小企業団体青年協議会

第38回通常総会開催



群馬県中小企業団体青年協議会（田村明義会長、28会員）は、5月13日、前橋市・群馬県青少年会館において、第38回通常総会を開催した。

田村明義会長が議長となり、平成25年度事業報告・収支決算、平成26年度事業計画・収支予算について審議が行われ、満場一致で原案通り可決承認・決定された。



久保田新会長



田村直前会長

また、任期満了による役員改選も行われ、理事18人、監事3人の

新役員を選出、併せて開催された理事会で、新会長に久保田雅幸氏（群馬県室内装飾事業（協）青年部会）が就任した。

通常総会終了後、東京デザインランド1998年アンバサダー高坂麻紀氏を講師に招き、ダイズニー流のおもてなし術・コミュニケーション術について講演を行った。参加者は、満足度の高いおもてなしを実現するための、スタッフの管理手法、管理者としてあるべき姿勢について熱心に耳を傾けていた。

その後、懇親会を開催。久保田新会長が挨拶し、来賓の中央会中



研修会の様子

群馬県中小企業団体青年協議会役員名簿

(平成26年5月13日就任)

No.	役職	氏名	所属青年部
1	会長	久保田 雅 幸	群馬県室内装飾事業(協)青年部会
2	副会長	今 井 正太郎	群馬県石油(協)青年部
3	〃	諸 田 宏	群馬県再生資源事業(協)連合会青年部
4	〃	境 野 泰 照	群馬県トラック事業(協)青年協議会
5	〃	横 手 誠 二	群馬県旅館ホテル生活衛生(同)青年部
6	〃	島 岡 利 宣	群馬県酒造(協)稲水倶楽部
7	〃	杉 木 基 泰	ぐんまみらい(信)みらい倶楽部連合会青年部
8	〃	横 田 裕 正	高崎問屋街青年経営者研究会
9	〃	西 田 充 男	高崎機械工業(協)青年部
10	理事	小 沢 竜 也	群馬県交通安全施設業(協)青年部
11	〃	山 本 秀 人	群馬県自転車軽自動車商(協)青年部
12	〃	勅使河原 雅	西毛機械工業(協)青年部
13	〃	川 手 和 義	高崎地区運送事業(協)青年経営者研究部会
14	〃	松 本 尉	高崎土木建築業(協)青年部八日会
15	〃	前 原 英 彦	高崎リサイクル事業(協)青年部
16	〃	高 橋 直 也	東毛環境サービス事業(協)青年部
17	〃	佐 藤 真 人	東日本編レース(工)青年部
18	〃	坂 入 幹 崇	わたらせ工業青年会
19	監事	金 井 浩	高崎機械工業(協)青年部
20	〃	浜 辺 宣 昭	高崎問屋街青年経営者研究会
21	〃	近 藤 雄一郎	群馬県酒造(協)稲水倶楽部
22	直前会長	田 村 明 義	群馬県旅館ホテル生活衛生(同)青年部



高坂麻紀氏



武井壮駿会長の音頭で乾杯

山正司専務理事、商工中金松尾悟志支店長が祝辞を述べた。壮駿会武井宏会長の音頭で乾杯が行われた後、退任した田村直前会長に久保田新会長より記念品が贈呈された。

懇親会は終始和やかな雰囲気、交流・懇親が深められ、境野泰照副会長により中メが行われた。

青年協議会へ是非ご加入下さい！

青年協議会は、組合青年部やそのOB、中小企業の若手経営者、後継者等が加入し、研修会等の事業を通じて、企業や組合の後継者としての実力向上を図っています。様々な業種から入会頂いているので、幅広い内容の情報交換ができ、相互に業界のリーダーとなるべく切磋琢磨できる絶好の場となっています。

会員数

団体20 個人8

会員資格

- ・ 中小企業組合に設置されている青年部
- ・ 任意に組織された若手経営者等の団体
- ・ 中小企業組合の役員又は中小企業関係機関の役員

※詳細は本会開発課までお問い合わせ下さい。

群馬県商店街振興組合連合会 第44回通常総会・講演会開催

群馬県商店街振興組合連合会（今川守会長、会員15組合）は、5月19日、前橋市・アーバーサリコートラシーネにおいて第44回通常総会・講演会を開催した。今回の通常総会・講演会には、群馬県をはじめ、前橋市、高崎市、桐生市、渋川市、沼田市の商店街振興に携わる各課から担当者が来賓として臨席した。

今川会長は開催の挨拶において、「アベノミクスによる金融緩和、経済成長政策の中で1年が経過し、大企業を中心に景気は回復してきている。しかし、商店街にはアベノミクスの影響や消費増税の駆け込み需要があまり感じられなかった。過去10年間と同じく厳しい状況ではあるが、商店街の活性化に一步でも皆様とともに進んでいければ」と述べた。

今川会長が議長に選任され、事



今川会長

業報告・決算、事業計画・収支予算、経費の賦課・徴収方法、借入金残高の最高限度、役員改選について審議がなされ、満場一致で原案通り可決承認・決定された。その後、群馬県産業経済部商政課廣瀬明男次長が祝辞を述べた。



廣瀬次長

通常総会終了後、「店づくりが街を変える」をテーマに、有限会社風間総合サービズ代表取締役風間教司氏より講演が行われた。

風間氏は、衰退する市街地を楽しい街に変えることを決意し、「ネコヤド大市」など様々なイベントを企画。今後は、屋台村の設置やまちづくり会社設立を視野に活動を展開していく考えという。



風間教司氏

研修会終了後、講師・来賓等を含め33名の参加により懇親会を開催。今川会長、群馬県産業経済部高橋厚部長の挨拶に続いて、大橋慶人副会長の音頭で乾杯となり、相互の懇親・懇談が図られる中、大崎哲朗理事の中締めにより、盛会の裡に終了となった。



懇親会風景

◎通常総会をおえて 消費増税等により厳しい外部環境は続いているようですが、今後も地域コミュニティーに欠かせない存在である商店街を盛り上げ、群馬県の発展の大きな力になって欲しいです。

群馬県機械金属工業協同組合連合会 第34回通常総会開催



三宅正俊会長

群馬県機械金属工業協同組合連合会（三宅正俊会長、会員6組合）は、5月28日、中央会会議室において、第34回通常総会を開催した。三宅会長は挨拶として、「安倍政権誕生後、工業生産や求人倍率等の各種指標は良くなっており、希望が多少出て来ている。各社、各組合に目を向けてみると、良い話は聞こえてこないものの、悪い話も減ってきているように感じる。気がかりであるのは、本当に景気が上向いてきたとき、若手の従業員を雇用できるかというのが第一点。また、グローバル化や、親会社との関係の多様化等により、ビジネスのサイクルが短くなってきたことが第二点。こうした変化に対応できるように、様々な方策を考えていく必要がある」と

述べた。

三宅会長が議長となり、平成25年度事業報告・収支決算、平成26年度事業計画・収支予算、賦課金の徴収方法について審議が行われ、満場一致で原案通り可決・承認決定された。

議案審議の終了後、来賓の群馬県工業振興課布施正明課長並びに、中央会中山正司専務理事が挨拶を述べた。

布施課長は、県内の状況について好材料と懸念材料を挙げ、工業振興課としては、企業に活力を出してもらうことで、雇用を確保し、県民の生活を支えられるように尽力していく旨を述べた。

中山専務理事は、ものづくり補助金について現状を紹介し、この機会を活用し、成長につなげてほしいと述べた。

◎会議をおえて

三宅会長の挨拶の中で、変化の兆しと今後の懸念が述べられていました。会員の皆様がこうした変化に対応する一助となるべく、本誌でも様々な情報提供をして参りたいと思います。